

SSKS

2023. 10月号

No. 555

せんかわだより

～あるがままに あたりまえに～



毎日来たい！そんな作業所をめざします



【つくる工程も楽しく。評価されると嬉しくなります。】

そこに行けば、“役割がある”“活躍できる”“楽しみがある”そして、“仲間がいる”
そんな作業所をめざして、生活介護事業所ではさまざまな活動を提供しています。

利用者が『毎日来たい！』と期待を胸に抱き、日々の活動を通して達成感や自己肯定感を得ることができるよう、職員は学び続けています。しっかりとかわり、安心できる関係性を基本とし、できることはしっかりととりくむことで、利用者一人ひとりが持つ力を発揮し、生き生きと活動に参加しています。



社会福祉法人 武蔵野千川福祉会

<http://www.musashino-senkawa.com>



個々に合わせた事業所、活動で安定して過ごす ～生活介護事業における活動～

武蔵野千川福祉会（以下、当法人）のなかで、「千川作業所」、「ななほしワークス」、「ワークイン中町」は、生活介護事業を行う3事業所です。生活介護事業とは、障害者総合支援法に次のように定められています。「障害者支援施設その他の以下に掲げる便宜を適切に供与することができる施設において、入浴、排泄及び食事などの介護、創作的活動又は生産活動の機会の提供その他必要な援助を要する障害者であって、常時介護を要するものにつき、主に昼間において、入浴、排泄及び食事などの介護、調理、洗濯及び掃除等の家事並びに生活等に関する相談及び助言その他の必要な日常生活上の支援、創作的活動又は生産活動の機会の提供その他の身体機能又は生活能力向上のために必要な支援を行います。」

当法人の生活介護事業所では、この法律に基づき、①介護②日常生活上の支援③生産活動④創作的活動⑤身体機能又は生活能力向上のために必要な支援といった5つの内容を組み合わせ、支援や活動を日々提供しています。今回は、生活介護事業所で行っている活動について目的や内容を紹介していきます。

さまざまな活動を提供する、その目的は

生活介護事業所では、現在、「生産活動（封入作業、清掃作業、DM配達）」「美術」「音楽」「運動」「戸外活動」といったさまざまな活動を提供しています。これらは前述の障害者総合支援法に求められている5つの内容を具体的な活動として捉え、提供しているものです。

生産活動は、「封入作業」「清掃作業」「DM配達」といった働くことを通して、役割を担うことでのやりがいや働くことの楽しさ等を感じることができるようしていくことを目的としています。生活介護事業所での生産活動は、生活介護事業所に通う利用者に働くことの楽しさを伝えるために、活動の中で利用者に何をやってもらうかという「役割」と、できたことに対して適切にフィードバックを行う「かかわり」や「評価」といったことを意識し、活動を提供しています。

創作的活動は、「美術」や「音楽」の活動を通して、利用者の持つ潜在的な表現力や感性を引き出し、活動の幅（物事に対する興味・関心）を拡げていくことを目的として提供しています。特に「美術」は、「アート活動」という時間で3事業所共通で行っている活動です。「塗る」「描く」はもちろんのこと、さまざまな道具を用いて利用者の動きや特性に合わせた作品を制作する過程で、利用者の感性や表現を引き出せるようにしています。また、活動を展開する職員は専門の講師から指導やアドバイスをいただくことで、より表現の幅を拡げることのできる活動を目指しています。

身体機能又は生活能力向上のために必要な支援として、「運動」活動や「戸外活動」を通して、心身機能の維持向上のための活動や社会の中でさまざまな経験を積み、生活の幅を拡げていくことを目的として提供しています。毎日の体操や買い物、公共施設等の利用など、運動や外出を伴う活動を通して、楽しむことはもとより、健康維持や公共施設を利用する際のルールやマナーなど、生活するうえで必要



【興味や関心をもってとりくみます】

な能力を培うとともに、生活の幅を広げていくことができるような活動を目指しています。

興味関心を持って活動にとりくむ ～意欲を引き出すための工夫

ななほしワークスでは、「生産活動」として、封入作業と清掃作業を活動として行っています。封入作業では、利用者の「役割」を封入、封緘、ラベル貼りなどの工程に分けて提供しています。今までは、「封入残り1000部、封緘残り1500部」といったように、各工程の残りの作業量を全体に示して、作業の進捗を伝えていました。全体の作業進捗では、個々の作業量が見えず、作業に対して意欲的な利用者に対して、ただ「がんばったね」と伝えるだけで、そこにはがんばったという根拠が薄い評価になってしまっているという課題がありました。その結果、利用者も作業に対して興味が薄くなり、活動中に寝てしまうということがありました。そこで、個々の作業量を正の字で記録するようになったところ「見て、今日こんなにたくさん仕事がんばったよ」という方や、職員と一緒に正の字を数え、作業量を伝えると満足そうにするというように、作業に対して意欲的にとりくむ姿勢が見られるようになりました。また、職員も個々の作業量や目標数を把握し、示すことで「今日は〇〇さん、昨日より〇〇本多くできてすごいですね！」というように具体的に数字を出し、評価できるようになりました。



【しっかりとフィードバックします】

身体機能又は生活能力向上のために必要な支援としての活動では、「運動」活動として、ストレッチ体操、「戸外活動」として買い物や図書館利用の活動を行っています。その中でも、ストレッチ体操は昼食後に2年以上毎日とりくんでいます。初めのうちは、活動に対して拒否的で参加できない利用者もいました。職員は参加を強制するのではなく、しばらく様子を見ていたのですが、他の利用者が職員と一緒に楽しそうに参加しているのを見て、「自分もやってみようかな」と言い、参加しました。ストレッチ体操のできばえを職員から評価された利用者は、それがとても嬉しかったのか、次の日から「体操は健康にも良いから」と言い、とても意欲的に参加するようになりました。その方は事業所も休みがちな利用者だったのですが、「体操は健康に良いから参加したい」と言い、ほとんど休まず通所するようになりました。

～活動を通してのかかわりから

このように、生活介護事業所では、さまざまな活動を提供することで、利用者の興味関心や意欲、生活の幅を広げていくことができるように支援しています。中には、活動に対して興味関心を示さず、参加の難しい利用者もいます。そのような利用者には日々の活動を通して、その利用者がどのようなことに興味を示すのか、しっかり観察をすることが大切です。少しでも活動に対し興味を示すことができるように環境を整え、工夫をすること。できたことに対してしっかりと評価を繰り返すことが安心して過ごすことができるための関係づくりになると思っています。

また、そのような関係性を基本としながら、職員が利用者にとりかかりかかわることで、利用者は「役割」や「楽しみ」を得て、一人ひとりが安定し、充実して過ごし、活躍できるようになると考えています。毎日休まず通所するだけでなく、「今日も楽しかった！明日も行きたい！」と思えるような作業所をめざしていきます。今後も活動を通して職員と利用者、利用者同士がしっかりと「かかわる」ことのできる活動をつくっていきます。

（文責：東 竜太郎）

むさしのあったかまつりが開催されます

「むさしのあったかまつり」は武蔵野市在住・在勤の障害のある方々が
主役となり楽しむ機会を提供するとともに、多様性が求められる社会を
志向し、相互理解を深め、だれもが安心して暮らせるまちづくりに寄与
することを目指して開催します。今年も『むさしのEco re ソート』を
会場とします。飲食コーナー、ゲームコーナー、モノづくり体験、展示
など、皆さまにお楽しみいただけるよう準備をしています。

当法人は今年度も実行委員会の一員として、マドレーヌやかりんとう
等の物販と展示で参加します。

皆さまのご来場をお待ちしています。



【とびっくす】～インスタだより vol.3～ #実習生の受け入れ



武蔵野千川福祉会では各事業所で実習生の受け入れを行っています。
社会福祉士を目指している学生だけでなく、保育士を目指している学
生も障害者支援を実習の場として選ばれる方が少なくありません。

チャレンジャーでは、お二人の実習生が白梅学園大学から来ました。
チャレンジャーの元気一杯な利用者の皆と一緒に働き、言葉を交わし
た経験は将来のキャリアに、きっと役立つことでしょう。



今月の動向 ～令和5年9月～

- 6日(水) (職員研修)児童発達支援学習会
(職員研修)放課後等デイサービス学習会
常任理事会
- 10日(日) 生涯発達・地域生活支援研究会
- 11日(月) 後期実習計画会議
- 19日(火) 常任理事会
- 21日(木) 宿泊行事(ワークイン関前)
- 27日(水) (職員研修)コミュニケーション
- 28日(木) 宿泊行事(チャレンジャー)

来月の予定 ～令和5年10月～

- 3日(火) (職員研修)B型事業所学習会
- 11日(水) (職員研修)児童発達支援学習会
常任理事会
- 12日(木) 宿泊行事(ワークイン中町)
- 19日(木) 宿泊行事(八幡作業所)
- 23日(月) (職員研修)放課後等デイサービス学習会
(職員研修)生活介護学習会
- 26日(木) 宿泊行事(武蔵境7-キグセター)
- 31日(火) (職員研修)生活支援学習会



社会福祉法人 武蔵野千川福祉会

<http://www.musashino-senkawa.com>

<発行人> 特定非営利活動法人 障害者団体定期刊行物協会 東京都世田谷区祖師谷3-1-17-102 TEL 03(6277)9611

<編集人> 社会福祉法人 武蔵野千川福祉会 東京都武蔵野市境南町4-20-5 TEL 0422(30)0022 定価 50円